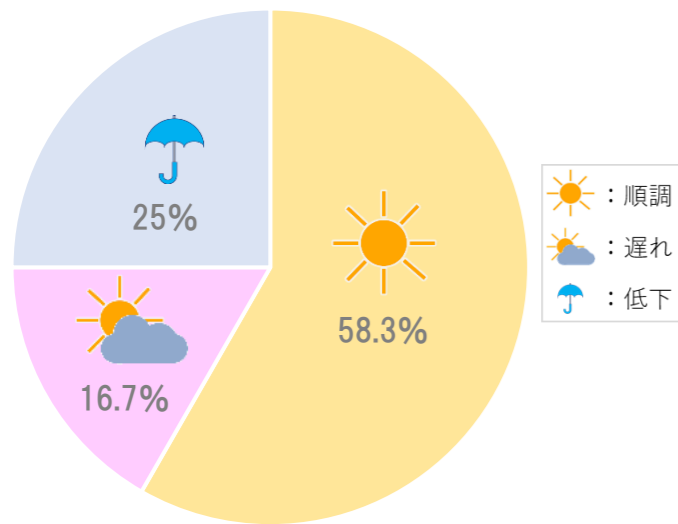


第7次安城市行政改革大綱 令和5年度実績報告書（計画期間：令和4年度～令和8年度）【総括表】

各実施項目に設定している進捗管理指標の令和5年度末の実績値により、進捗状況を総括しました。

【進捗管理指標の令和5年度実績値の進捗状況一覧】

| 進捗状況 | 指標数 | 進捗度割合 |
|-----------------------------|-----|--------|
| 目標達成に向けて、 <u>順調</u> に進んでいる | 7 | 58.3 % |
| 目標達成するためには、 <u>進捗が遅れている</u> | 2 | 16.7 % |
| R3年度より <u>実績値が低下</u> している | 3 | 25 % |
| 計 | 12 | 100 % |



《 総 括 》

大綱の取組期間 2 年目における進捗管理指標の状況は、全 12 項目の指標のうち、7 項目を「順調に進んでいる」と整理しています。

一方で、このままのペースでは目標が達成できないとして、「進捗が遅れている」とした指標が 2 項目、「令和3年度より実績値が低下している」ものが 3 項目あります。

令和4年度実績と比較して「順調に進んでいる」とした項目が 1 項目増えていますが、依然として順調に進んでいない項目があります。この項目については、現状の分析を踏まえて、遅れを取り戻すよう、必要な取組を実施していきます。

※第7次安城市行政改革大綱は、市公式ウェブサイトに掲載しています。

(<https://www.city.anjo.aichi.jp/shisei/gyokaku/documents/7-plan.pdf>)

【進捗管理指標の令和5年度実績】

| 重点目標 | 実施項目 | 進捗管理指標 | | | | |
|----------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------|------------------|---------|------|
| | | 目標値:R8 | R5 | 参考:R3 | 区分 | |
| 経営資源の最大活用 | ①人材の育成・活用 | 仕事を通じて成長していると実感する職員の割合 | 95%以上 | 92.8 % | 87.4 % | ☀️ |
| | ②働きやすい職場環境づくり | 1人あたり時間外勤務時間(年間) | 令和3年度実績から2割削減 | 159.6時間 | 152.2時間 | ☔️ |
| | | 職員満足度調査における総合満足度 | 不満層5%以下 | 12.3% | 11.7% | ☔️ |
| ③資産の適切な管理・運用 | 今後利用見込みのない市有地の処分手続件数(累計) | 5件(累計) | 1件(累計2件) | 1件 | ☀️ | |
| 健全財政の維持 | ④事務事業の最適化 | 行革効果額(累計) | 20億円(累計) | 約2.4億円(累計約5.4億円) | — | ☁️☀️ |
| | | 行政評価(外部評価)を実施した事業数(累計) | 20事業(累計) | 5事業(累計15事業) | 9事業 | ☀️ |
| | ⑤自主財源の確保 | ふるさと納税(企業版含む)による寄附金額(年間) | 3億円(年間) | 約1.2億円 | 約1億円 | ☁️☀️ |
| ⑥民間事業者等の知見を活かした取組の推進 | 民間事業者等と連携して新たに実施した事業数(累計) | 20件(累計) | 8件(累計16件) | 8件 | ☀️ | |
| 行政のデジタル化 | ⑦デジタル化による市民の利便性向上 | オンライン申請ができる手続数 | 令和5年度末までに48手続(累計) | 9手続(累計48手続) | 18手続 | ☀️ |
| | ⑧ICTを活用した業務の効率化 | ICTの活用により削減された作業時間数(年間) | 2,000時間(年間) | 5,635時間 | 1,333時間 | ☀️ |
| | | コピー枚数(年間) | 令和3年度実績から5割削減(年間) | 785万枚 | 763万枚 | ☔️ |
| ⑨情報システムの最適化・強靱化 | システム標準化 | 令和7年度末までに国が示す20システムを標準化 | 0業務(※) | — | ☀️ | |

※令和5年度までは標準化の準備期間のため「順調」としている。